

久我山だより

令和元年5月31日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

心を形に

校長 筒井鉄也

副校長のころは、勤務校が近隣だったので自転車で通勤をしていました。その途中、長い橋を渡るのですが、歩道が狭く自転車だとかろうじてすれちがうことができる幅しかありませんでした。自転車の往来がかなり多い橋だったので毎日とっていいほど、自転車同士何回もすれちがいます。向かいから自転車が迫ってくると徐行をして上手にすれちがいができるようにしていたのですが、相手の様子は実にさまざまでした。スピードを緩めず平気でこちらに向かってくる人、相手のことを考えずマイペースで通り過ぎる人、徐行をして軽く会釈をして進む人などなど。お互いが目を合わせ、軽く徐行をして通り過ぎるときは、双方の思いやりが形となってあらわれたという実感からか、とてもよい心地になったことを思い出します。



現在励行しているあいさつも「心を形に」したものといえます。毎朝、子どもたちと、目と目を合わせ、「おはようございます」という言葉をかわすだけで、お互いの真心が通った気持ちがします。

日中、廊下で子どもとすれちがうと、軽く会釈をして「こんにちは」という子どももふえています。何気ないことなのかもしれませんが、真心の通じ合いは心地よいものです。

「心を形にした」ものといえば、いわゆる「江戸しぐさ」があります。「傘かしげ」「肩引き」「こぶし腰浮かせ」など、人口の多い江戸の町ならではの知恵と思いやりを形にしたものです。

※傘かしげ…雨の日に道ですれ違う時、互いに傘を外側にかたむけること。

※肩引き…狭い道ですれちがう時、肩を引き、体を斜めにしてすれちがうこと。

※こぶし腰浮かせ…こぶし一つ分腰を浮かせて席をつめること。

お互いが気持ちよく生活していくためには、心を形にしていくことが必要であり、それは、人が社会の中で生きていくためには欠かせないものという意識は、旧来よりあったといえます。



思いやりの心をさらに培い、そして心を形にしながら、令和の時代も、心温まるお互いが心地よくなる学校にしていきたいと思います。

今月もよろしくお願ひします。

「こころ」はだれにも見えないけれど
「こころづかい」は見える
「思い」は見えないけれど
「思いやり」はだれにでも見える

宮澤章二「行為の意味」より